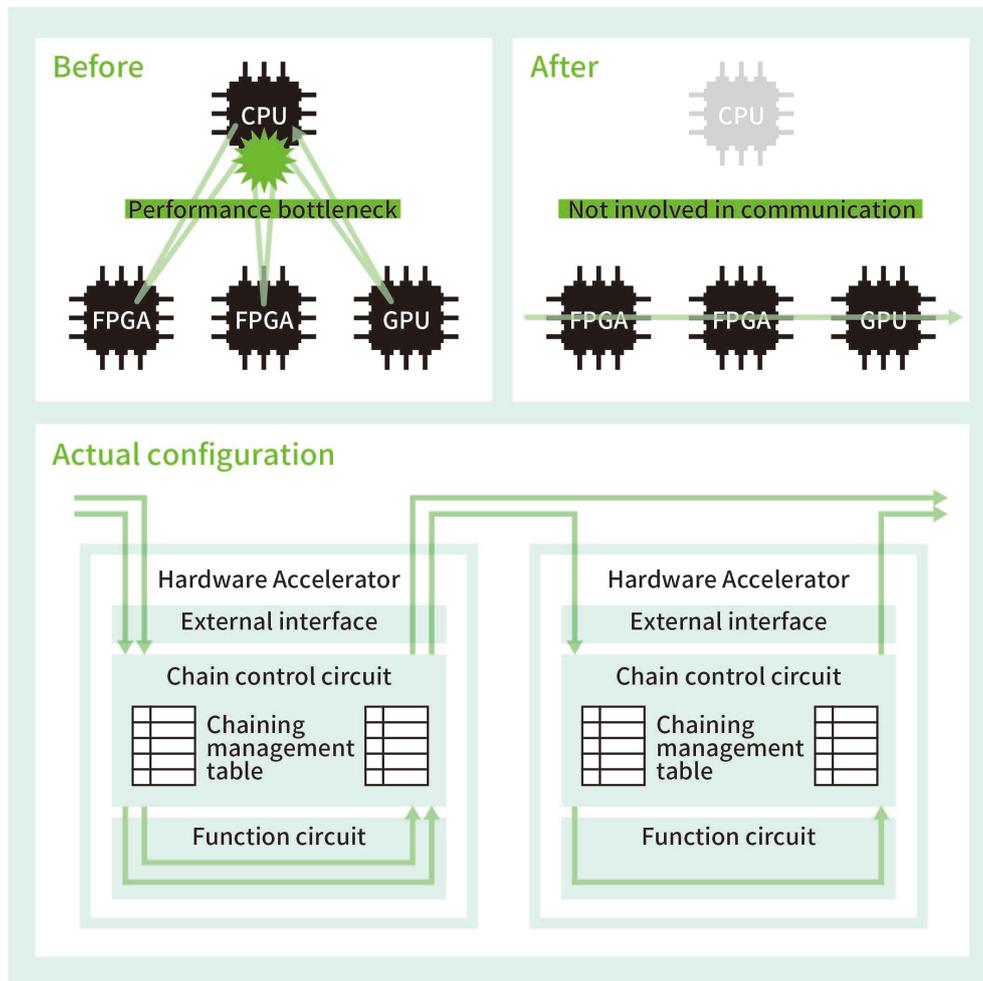


HWアクセラレータ間直接データ伝送制御技術

複数のハードウェアアクセラレータを用いたデータ
処理基盤を高効率化します

#顧客体験価値向上



///技術課題

ハードウェアアクセラレータによるデータ高速処理基盤は、大規模化するとCPUによるデータ転送制御がボトルネックとなります。

///研究目標

全体を制御するCPU処理をなくすことにより、従来のシステム構成より1/2の電力コストをめざしています。

---要素技術

ハードウェアアクセラレータによる完全なデータ伝送自律制御を実現

---市中技術差異点

市中技術ではデータ処理プログラム内で実施していたハードウェアアクセラレータ間のデータ伝送制御を、データ処理プログラム外でコントロールすることでデータ伝送制御のCPUオフロードをさらに推し進め、システムとしてのパフォーマンスや電力効率を高めることを実現

---適用ビジネス

情報通信業・サービス業において、大規模データ処理を短時間・低遅延で実現し、データ収集効率化・リアルタイム処理・データ分析の高速化・AI処理のためのデータ整形高速化などに活用（技術確立時期：2028年度目標）